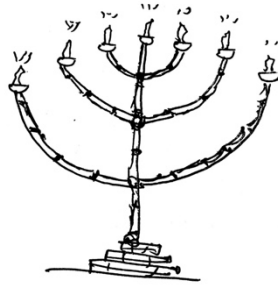


# 七つの教会

教会	名前の意味	イエスの特徴	賞賛と励まし	譴責	勧告	勝利者への約束	時代
エベソ	“望ましい” “一番”	右の手に七つの星を持つ者、七つの金の燭台の間を歩く者	熱心、忍耐している、健全な教理を持ち、正しい判断力を持っている	初めの愛から離れてしまった	どこから落ちたかを思い起し、悔い改めて初めのわざを行いなさい	神のパラダイスにあるいのちの木の実を食べることをゆるそう	～100 AD (初代教会)
スミルナ	“没業” “甘い香り”	初めてあり、終わりである者、死んだことはあるが生き返った者	圧力下にある、非難されている、貧しい、本当は富んでいる、さらにひどい苦難にあう	×	恐れてはならない、死に至るまで忠実であれ	いのちの冠をあたえよう。第二の死によって滅ぼされることはない	～313 AD (迫害の中の教会)
ペルガモ	“極み” “力” “気品”	鋭いもろ刃のつるぎを持っているかた	忠実、信仰を捨てなかった	バラムの教を奉じている者がある、ニコライ宗の教を奉じている者もある (偽りの教えと行為に対して寛大すぎる)	悔い改めなさい。そうしないと、わたしはすぐにあなたのところに行き、わたしの口のつるぎをもって彼らと戦おう	隠されているマナを与えよう、だれも知らない新しい名が書いてある白い石を与えよう	～538 AD (皇帝礼拝の始まり)
テアテラ	“争いの犠牲”	燃える炎のような目と光り輝くしんちゅうのような足とを持った神の子	愛と信仰と奉仕と忍耐とを知っている、後のわざが、初めのよりもまざっている	イゼベルという女を、なすがままにさせている	わたしが来る時まで、自分の持っているものを堅く保っていなさい	諸国民を支配する権威を授ける、明けの明星を与える	～1560s AD (背教・暗黒時代)
サルデス	“再建”	神の七つの霊と七つの星とを持つかた	衣を汚さない人が、数人いる	生きているというのは名だけで、実は死んでいる	目をさましていて、死にかけている残り者たちを力づけなさい。どのようにして受けたか、また聞いたかを思い起こして、それを守りとおし、かつ悔い改めなさい	白い衣を着せられる。その名をいのちの書から消すようなことを、決してしない。父と御使たちの前で、その名を言いあらわそう	～1790s AD (宗教改革)
ヒラデルヒヤ	“兄弟愛”	聖なる者、まことなる者、ダビデのかぎを持つ者、開けばだれにも閉じられることなく、閉じればだれにも開かれることのないもの	力は弱いが神の言葉に忠実、妥協や背教がない、忍耐強い、積極的	×	自分の持っている者を堅く守っていなさい	神の聖所における柱にしよう。わたし(イエス)の神の御名と、わたしの神の都、すなわち、天とわたしの神のみもとから下ってくる新しいエルサレムの名と、わたしの新しい名とを、書きつけよう	～1840s AD (リバイバル)
ラオデキヤ	“裁き”	アメンたる者、忠実な、まことの証人、神に造られたものの根源であるかた	×	なまぬるい、みじめな者、あわれむべき者、貧しい者、目の見えない者、裸な者	キリストから火で精錬された金を買う、白い衣を買う、目薬を買う。悔い改めなさい	わたし(イエス)と共にわたしの座につかせよう	～終わりの時 (現代の教会)

## 交差対句構造 (ABA 論法)

- 1 番目と 7 番目の教会
  - 2 番目と 6 番目の教会
  - 3 番目と 5 番目の教会
- それぞれ並列
- 4 番目：2つの側面、一番長い手紙



## 七つの教会と七つの項目

- A 各教会の天使に宛てられている
- B イエスの姿の特徴
- C 賞賛と励まし
- D 譴責
- E 勧告
- F 勝利者への約束
- G 御霊に聞くようにという訴え



右の手に七つの星を持つ者、  
七つの金の燭台の間を歩く者が、  
次のように言われる。